

毎月
第1土曜日
14時より

Laboratoire de France



laboratoire de France par Takeshi

タケシのフランスラボ

人付き合いには思いやりが欠かせませんが、相手を思いやるにはその人のことを知り、理解しなければなりません。もちろんそれは外国人に対しても同じ。ことばを学ぶということは、単に新たな言語ツールを増やすということだけでなく、その国の文化や習慣を知り、そのことばを話す人のことを理解することでもあります。この講義では、毎回のテーマに関連するフランス語を学ぶだけでなく、フランスの文化を掘り下げて解説することで、フランスとはどのような国なのか、フランス人とはどのような人たちなのかを学んでいきます。タケシ先生がフランスで見て感じたことを実際のエピソードで語る脱線トークもあり！？

日時

毎月第1土曜日 14:00～15:30

定員

10名 (アミティエ会員以外も可) ※先着順

参加費

500円/回

テーマ

漫画、音楽、映画、絵画、歴史、スポーツ、SNSなど

第二回講義「フランス人の休日」

5月2日(土)14:00～15:30

もうすぐ日本ではゴールデンウィーク！ということで、今回のテーマは「フランス人の休日」。「フランスにはどんな祝日があるのか？」を紹介し、その意味や起源を探るほか、フランス人は「休みの日には何をするのか？」「どのくらい働き、どのくらい休むのか？」など、フランス人のライフスタイルやワークスタイルにも迫ります。フランス人の休日をのぞいて、自分自身の休日のあり方について考えてみませんか？

毎月
第2土曜日
14時より



Comment on transmet le Japon?

タケシの日本の伝え方

東京が2020年の五輪開催地に決まり、富士山が世界遺産に、和食や和紙が無形文化遺産に登録されるなど、昨今、世界中の人々がクールな日本の文化に注がれています。昨年、訪日外国人数が1,300万人を突破しましたが、政府はさらに2020年までにこの数を2,000万人に伸ばすことを目標に掲げており、今後、フランス人を含む外国人のさらなる来日が予想されます。一方、日本人が観光はもちろん、留学や仕事などでフランスを訪れる機会も多くあります。そのような状況を踏まえると、日本人とフランス人の交流が増えていくことは明らかです。そういった機会に、日本についての紹介や説明ができるように、まずは日本を知ることを始めませんか？ 毎回のテーマに沿って、日本の文化をフランス語でどのように伝えればよいのかを、みなさんのまだ知らない日本の文化を紹介しながら解説します。

日時

毎月第2土曜日 14:00～16:00

定員

10名 (アミティエ会員以外も可) ※先着順

参加費

1,000円/回

テーマ

神戸、漢字、自然災害、宗教、ものづくり、国際関係など

第二回講義「日本人と祝日」 5月9日(土)14:00～16:00

「ブラック企業」や「サービス残業」などが社会問題となっている現代の日本。今回は、そんな社会に生きる私たちのオアシスとも言える「祝日」がテーマです。普段私たちが何気なく過ごしている祝日ですが、そこに日本の文化の根源を垣間見ることができます。そもそも祝日とは「一体何のためにあるのか?」、「誰がいつ作ったのか?」など、その裏側を探ることで見えてくる日本の歴史や日本人の国民性を紹介します。